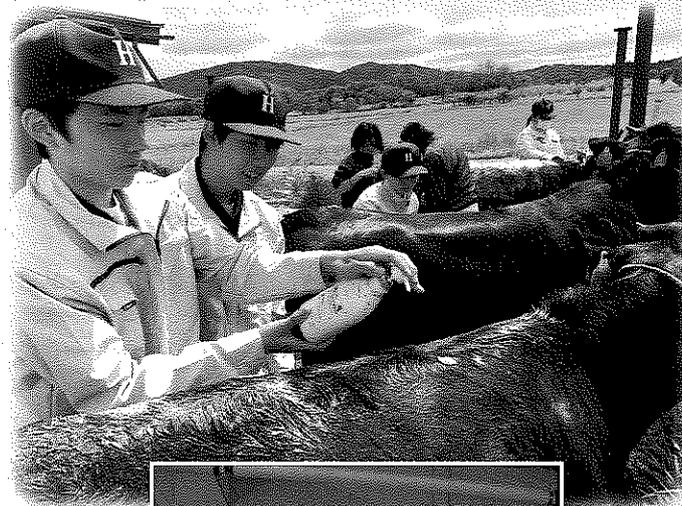
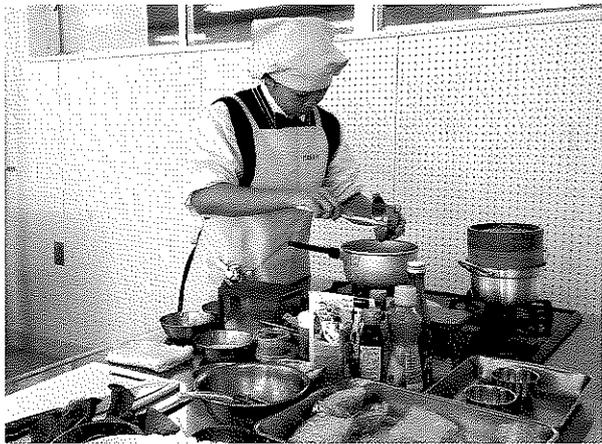


愛農

PTA会報第80号

岩手県立花巻農業高等学校PTA



実習風景

この度、第73回高等学校PTA連合大会において、全国高等学校PTA連合会会長表彰(団体表彰)を本校PTAが受賞いたしました。あいさつ運動や花いっぱい運動といった、地域に根ざした地道な活動の積み重ねが今回の受賞に繋がったと思います。今後も、一つ一つの活動が未来の花に繋がるよう、我々PTAは生徒に寄り添い共に歩んでまいります。これからも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

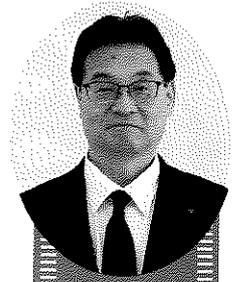
今年度はコロナ禍以前の活気ある学校行事やさまざまな活動ができたのではないのでしょうか。本校を会場とした農業クラブ全国大会では、県内外の高校生と交流を深めることができました。花農祭も昨年に続き一般公開で多くの方にご来場いただき、母親委員会による喫茶店も大盛況でした。研究発表では食農科学科のソーセージ研究班が、「テクノ愛2024」においてグランプリを受賞しましたし、部活動や個人でもそれぞれ輝かしい成績を残しています。これもひとえに、コロナ禍の制限の中でも歩みを止めず、邁進してきた先輩方の礎があってこそその躍進だと思えます。



「あいち」

PTA会長 高橋 康喜

日頃よりPTA会員の皆様にはPTA活動に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。校長先生をはじめ関係教職員の皆様の支えもあり、無事に進めることができました。心より感謝申し上げます。



「地域とともに」

校長 沼澤 信典

P T A会員の皆様には、日頃よりP T A活動、教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。本校に就任して一年、今年度を振り返りたいと思います。

花農祭は昨年度に引き続き、一般公開での開催とすることができました。農業クラブ全国大会終了後の短い期間ではありましたが、生徒は心をこめて精一杯の準備をしました。母親委員会が中心となって運営いただいた模擬店は、メイン会場である第二体育館と隣接する柔剣道場に設置され、大盛況でありました。また、文化部によるステージ発表や作品展示、学科による学科展や生産物・加工品販売、生徒会・農業クラブ企画展と盛りだくさんの内容となりました。当日はあいにくの雨模様でしたが、たくさんのお客様にお出でいただき、本校が地域から愛され、期待されている学校であることを改めて知ることができました。花いっぱい運動は、長年にわたる地域に華やぎと潤いを提供して

きました。今年も多くの皆様に参加いただき、生徒と協力してプラントナーに植栽し、地域に届けていただきました。これまでの活動が高く評価され、全国高等学校P T A連合会より団体表彰を受けました。さらに小さな親切運動岩手県本部より実行章、(株)ネクスコ・トリ東北から感謝状と、トリプル受賞となりました。このような地域との繋がりを大切にする本校らしい活動を今後も継続させていきたいと思えます。

部活動や農業クラブを始めとする各種大会で、今年も生徒は大活躍し、全国大会や東北大会で顕著な成績を収めました。その様子は新聞等で幾度となく大きく報じられ、広くアピールすることができました。

進路状況は、進学、就職、公務員と今年も順調に進んでいます。課外授業や試験対策、面接練習や企業訪問と進路実現のため懸命に取り組み、合格・内定をいただきました。本校では各学科での学びを活かした進路実現をとおして、

社会で生き抜き、地域貢献できる人材育成を目指しております。

さて、今年度は第75回日本学校農業クラブ全国大会令和6年度岩手大会が花巻市を含む県内4市町で開催されました。本校は平板測量競技会（日居城野公園会場）と農業鑑定競技会（花巻農業高校会場）の大会運営を担当しました。43年ぶりの開催で、多くの課題・難問を生徒と職員が一丸となって解決しながら進め、最終的に来県された多くの皆様に心をこめておもてなしができたと感じております。生徒は、プレ大会やリハール大会を経験しながら着実に責任感が芽生え、表情や言動に自信や頼もしさを感じさせるようになり、成長という大きな財産を手にする事ができたと思っております。

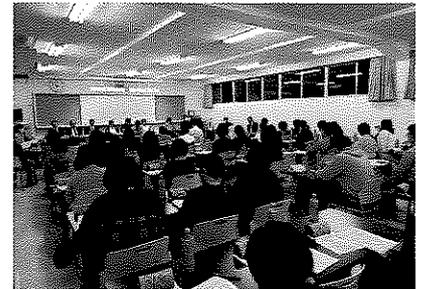
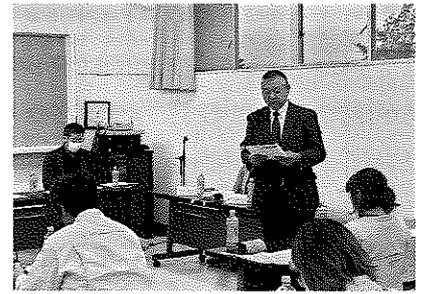
これからも生徒が花農で習得したことを実践力や応用力、そして人間力として身に付け、未来の担い手として邁進できるよう、教職員一同取り組んでまいります。そのためには家庭と学校が互いに連携を深めていくことが大切です。今後とも皆様の変わらぬ御理解と御協力をお願い申し上げます。



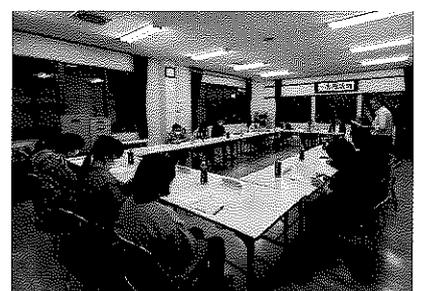
令和6年度 PTA活動記録

4	1 (月) PTA入会式打合せ	本校(地人会館)
	6 (土) 入学式・PTA入会式	本校(第2体育館)
	10 (水) 会計監査	本校(面接室)
	11 (木) PTA役員会①	本校(地人会館)
	30 (火) PTA総会	多目的ホール
5	8 (水) PTA専門委員会①	本校(地人会館)
	10 (金) 高P連中部地区協議会	あえりあ遠野
	17 (金) 役員会②	本校(地人会館)
	28 (火) 開校記念講演会 3学年PTA	本校(第2体育館) 多目的ホール
6	5 (水) 県高P連総会	サンセール盛岡
	12 (水) PTA研修視察	県立産技短、アイオー精密
	19 (水) 花いっぱい運動①	愛農農場他
7	2 (火) PTAあいさつ運動①	駐輪場前
	3 (水)	
	16 (火) (株)ネクスコ・トール東北社長来校	校長室
9	25 (水) 保護者つながる交流会	サンセール盛岡
	27 (金) PTA役員会③	本校(地人会館)
10	4 (金) 1学年PTA	多目的ホール
	8 (火)	
	9 (水) PTAあいさつ運動②	駐輪場前
	10 (木)	
	16 (水) 2学年PTA	多目的ホール
	17 (木) 花いっぱい運動②	愛農農場他
	18 (金) 県高P連会長研修会	メトロポリタン盛岡
	28 (月) 臨時役員会	本校(地人会館)
11	2 (土) 花農祭一般公開日	校舎他
	23 (土) PTA中部地区母親委員会交流会	花北青雲高校
	29 (金) 全国高P連表彰・志田藤前会長東北高P連表彰を祝う会	中華ダイニング チンシュイ
2	7 (金) PTA役員会④ PTA専門委員会②	本校(地人会館)
	28 (金) 卒業式予行(PTA会長賞授与)・PTA会報発行	本校(第2体育館)
3	1 (土) 卒業式	本校(第2体育館)

PTA 総会の様子



役員会・専門委員会の様子



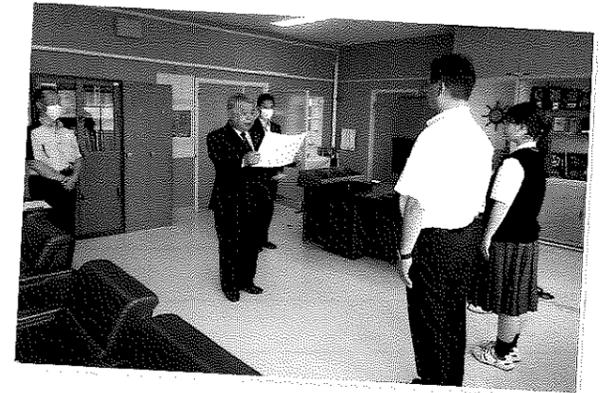
PTA活動 ~各委員会活動報告~



また、第72回全国高等学校PTA連合会2024茨城大会において、花農PTAとして2度目となる全国高P連表彰を受賞することができました。

更には、花いっぱい運動の一環として長年にわたる高速道インターチェンジ（花巻IC、花巻南IC、花巻空港IC）へのプランターの設置活動に対して、(株)ネクスコ・トール東北より、安田憲弘社長が来校され、本校に対して感謝状と記念品としてプランター200個をいただきました。

以上のように、本校PTA活動が大きく評価をいただいたことは、ひとえにPTA会員の皆様の活動が学校のみならず、地域活動として認めていただいている証であると思います。PTA員の皆様におかれましては、今後ともPTA活動に御理解と御協力をお願いいたします。



令和6年度は、本校のPTA活動が大きく評価される年となりました。

先ず、志田藤ひとみ前会長が東北高P連から感謝状を贈呈されました。志田藤前会長は、就任期間において岩手県高等学校中部地区PTA連絡協議会会長、県高P連副会長（県高P連進路対策委員長を兼ねる）という要職に就き活躍されました。第72回東北地区高等学校PTA連合会福島大会では、県を代表して「子どもたちと共に歩むPTA活動～PTA活動をとおして共に学ぶ～」と題して花農PTAについて発表されました。



環境整備委員会

委員長

環境整備委員会は「花いっぱい運動」の活動を行っており、今年度は6月に花植えとプランターの運搬・設置、10月に回収と洗浄を行いました。
6月は、3年生と先生方、PTA会員の参加にご協力いただいた方々と一緒に作業を行いました。生徒たちが大切に育てたペゴニアを丁寧に手際よくプランターに植えた後、市内各所に運びます。駅や空港、宮沢賢治記念館や高村山荘などの観光名所、警察署や病院など市民が多く立ち寄る施設と、多くの場所にプランターを設置させていただいており、花巻を訪れた観光客や市民の皆様にも、おもてなしの気持ちや癒やしを与えてくれるものと思います。
10月のプランター回収と洗浄は、水やりなど大切にお世話してくださった方々への感謝と、猛暑の中でも人々の目を惹きつけてきた花達へのねぎらいの気持ちで作業しています。
ペゴニアの花言葉は色が変わり、赤は公平、白は真実・親切、ピンクは丁寧という意味があるそうで、改めて花農の生徒たちが育て、街を彩るのにふさわしい花だと感じました。
「花いっぱい運動」の活動は、生徒たちや参加者同士で会話しながら楽しく取り組みますので、気軽に参加していただきたいと思っています。最後になりましたが、お忙しい中ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



健全育成委員会

委員長

令和6年7月2日(火)～4日(水)及び10月8日(火)～10日(木)の各3日間、澄み切った青空の下、本校生徒昇降口前にて、生徒登校時間を目安に担当の先生方とPTA健全育成委員によるあいさつ運動が行われ、生徒達の登校を見守りました。
挨拶は、自分から相手の心に近づく上でとても大切なコミュニケーションスキルです。良好な人間関係を築くため、友人、家族、先生、地域の方々など誰にでも気持ちの良い挨拶ができるよう、健全育成委員会は生徒達の育みの一助となるよう、活動に取り組んでいます。
今年度のあいさつ運動において、生徒達はまだまだ恥ずかしいやほいかも様子が見られ、大きな声でのやり取りはまばらではありましたが、こちらが挨拶をすれば爽やかな笑顔が返ってきました。
朝の挨拶から活気ある一日が始まる生活習慣を身につけ、元氣よく勉強や部活動に励み、充実した学校生活を送ってほしいと思います。これから社会へ羽ばたく生徒達にも挨拶する心がけを大事に持ち、実践してもらいたいと願っております。
健全育成委員会活動にご参加、ご協力いただいた皆様、朝のお仕事前の忙しい時間帯にも関わらず参加していただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。



母親委員会

委員長

母親委員会の活動は、9月の県高P連母親会交流会への参加、花農祭での喫茶コーナーの運営、販売、中部地区母親会交流会への参加があり、委員の皆様のご協力を頂きながら活動してきました。
9月の交流会は「保護者つながる交流会」の講演会、11月の交流会は絵巻寿司づくりの体験をしました。他校の母親委員の方々と交流しながら、沢山のことを学びとても有意義な時間を過ごすことも楽しく参加することができました。

母親委員の一番の活動として、花農祭の喫茶コーナーの運営、販売です。例年通りの販売予定でしたが、今年度は飲食が喫茶コーナーのみという事で委員の皆様と話し合いの末、クレープのみという事で増やして販売することにしました。朝早くから委員の皆様とクレープ作り、試行錯誤しながらの会場準備でした。開店前から沢山の方に並んで頂き、用意した商品は完売することができました。無事に終わることができたのは、母親委員の皆様が沢山のアイデアを頂き、朝からほぼ休憩することなく準備・販売してもらったからだと思います。又、先生方のご協力・指導があった花農祭成功がありました。本日に母親委員の皆様、担当の先生方に感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



研修広報委員会

委員長

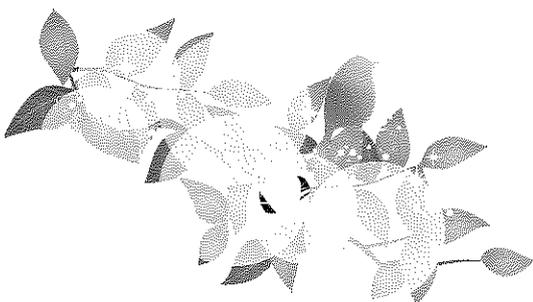
研修広報委員会の活動は、PTA通信、PTA会報の発行です。その他に研修として5月に開校記念講演会の参加、そして去年研修旅行を計画し、行いました。
5月に行われた開校記念講演会は、医学博士開場慶博氏を講師にお迎えし、「世界はあなたを待っている」という演題で講演していただきました。
6月の研修旅行は、岩手県産業技術短期大学校と株式会社アイオー精密に行きました。先生方4名と保護者13名の参加で1日研修視察しました。産業技術短期大学校では、実際の授業風景も見て、パンフレットだけでは分からない情報などを得ることができました。アイオー精密では、広い工場内を2班に分かれて、製造過程を見学させていただきました。途中、風食として、金婚亭で食事をし、参加者同士の親睦を深める時間にもなりました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。
PTA会報を発行するにあたり、原稿をお寄せいただいた皆様、ご協力いただいた委員の皆様、担当の先生方に感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



令和6年度 部・農業クラブ活動成績

※東北大会以上の成績を載せています

運動部	弓道部	第76回岩手県高等学校総合体育大会	女子個人	第3位 東北大会獲得	菊池 美生			
		第54回東北高等学校弓道選手権大会	女子個人	第1位 インターハイ東北大会獲得	開田 玲央			
				第2位	開田 玲央			
						第4位	菊池 美生	
		令和6年度国民スポーツ大会弓道競技岩手県選抜選手最終選考	近的・遠的	第51回東北総合スポーツ大会獲得	菊池 美生			
		令和6年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会第69回全国高等学校弓道大会	女子の部・個人競技	出場	開田 玲央			
	令和6年度第78回国民スポーツ大会東北ブロック大会兼 第51回東北総合スポーツ大会	少年女子の部	近的:第3位 遠的:第1位 総合:第2位	菊池 美生	佐賀岡スポ大会 出場決定			
	第78回国民スポーツ大会	少年女子	出場	菊池 美生				
陸上競技部	令和6年度第79回東北高等学校陸上競技大会	女子砲丸投	10m42 自己ベスト 第7位入賞	穂坂 紗維				
ボクシング	令和6年度第36回東北高等学校新人大会ボクシング競技	男子2部ピン級	第1位	藤原 柊				
文化部	写真部	第48回全国高等学校総合文化祭 清流の国ぎふ総文2024写真部門	写真部門	優秀賞	藤田 唯笑	305作品中		
				出場	鎌田 咲暉			
				出場	高橋 美桜			
		令和6年度第15回夏夏季写真コンテスト	写真部門	最優秀賞	岩間 萌衣	全国推薦【香川】		
		第47回岩手県高等学校総合文化祭写真部門	写真部門	最優秀賞	高橋 美桜	全国推薦【香川】		
	鹿踊部	第47回岩手県高等学校総合文化祭 郷土芸能発表会	郷土芸能	優秀賞第1席	井原 優生、似内 亜衣、 山口 雄太、遠藤 華流、 高橋 美咲、瀧澤 音和、 紺野 裕希、梅野 陽斗、 菅原 胡子、野又 聡太、 古川 真央、佐藤 孔明、 山口 そら、大久保青葉、 太田由玖音、菊池一十花、 高橋 万季、中村 奈々、 吉本 葵	第49回全国高等学校 総合文化祭 (かかわ総文祭2025) 出場権利獲得		
農業クラブおよび外部団体表彰	ソーセージ研究班	第75回日本学校農業クラブ東北連盟大会秋田大会	プロジェクト発表会 分野皿類	優秀賞	菊池 柚南、福士 華花、 高橋 愛李、佐藤穂希華、 宇名澤光梨、畠山 美優、 畑山 愛佳	ソーセージ研究班		
		第75回日本学校農業クラブ全国大会岩手大会	農業鑑定競技会	平板測量競技会	出場	小野寺胡珀、高橋 祐也、 (正選手) (正選手) 柳原 里音、橋本 大翔 (正選手) (補 欠)		
	作物(出場)			高橋 一珠				
	果樹(出場)			久保 真敏				
	草花(出場)			菊池 悠華				
	畜産(出場)			紺野 裕希				
	農業土木(出場)			多田 咲嬉				
	造園(出場)			関口 幹太				
	食品(出場)	藤瀬心乃美						
		生活(出場)	千田 心春					
	ソーセージ研究班	第24回環境甲子園		優秀賞	菊池 柚南、宇名澤光梨			
		テクノ愛2024	高校生部門	グランプリ	菊池 柚南、高橋 愛李、 佐藤穂希華、畠山 美優	岩手県教育委員会 はばたき賞		
		第14回クボタ・毎日地球未来賞	学生の部	大賞	菊池 柚南、佐藤穂希華			
	第10回全国ユース環境活動発表大会東北地方大会		審査員特別賞	畑山 愛佳、菅原 胡子、 菅原 璃子、古川 真央、 山本 悠太				
洋菓子研究班	第10回全国ユース環境活動発表大会東北地方大会		優秀賞	阿部 美詩、石塚 心海、 鎌田 ちとせ、多田 歩未、 新田 愛、福山 唯良				
生物科学科	第23回岩手県フラワーアレンジメントコンテスト 全国産フェア予選会		金賞(最優秀賞)	伊東 愛生				
	第34回全国産業教育フェア栃木大会 第23回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト		銀賞(第2位)	伊東 愛生	岩手県教育委員会 はばたき賞			



岩手県教育委員会はばたき賞のトロフィー

テノ愛2024 グランプリ 受賞



授賞式に参加した
ソーセイジ研究班

菊池 袖南
高橋 愛李
佐藤穂希華
島山 美優

過日、令和6年11月23日(土)に京都大学国際科学イノベーション棟で本大会が開催された。本校として初出場初グランプリを食農科学科ソーセイジ研究班が受賞した。テクノロジである科学技術に特化した研究で、全国449チームが応募し最終審査に通過した高校部門の代表9チームが研究の成果を発表した。本校の発表は「ソーセイジでフードロス削減1」というテーマで8分間の発表と6分間の質疑が行われ総合評価で最高賞のグランプリを受賞した。副賞として20万円相当の研究資材を頂いた。

本大会は、食農科学科3年ソーセイジ研究班リーダー菊池袖南率いる4名で大会に臨んだ。発表は農業クラブの内容である地域資源を活用したソーセイジ研究である。令和2年度から活用している北上市二子町特産のふたご里芋の中で毎年最大30トンほど廃棄処分されている親株

こと「頭芋」を練り込んで有効利用すると同時にハム・ソーセイジメーカーの大きな課題である賞味期限を延ばした長期保存可能な研究に着手することでフードロスを削減できる壮大な研究がはじまった。その活用した資源が遠野市産ホツブの樹脂成分「ルプリン」である。この抽出実験を何度も試行錯誤し、実に細菌検査ではシャーレ2,000枚を超える実験を繰り返した。その結果、令和6年2月、市販のものより長い保存が可能になり連携企業では今年度中の特許出願を目指している。この内容を大会の趣旨にあわせて佐藤穂希華がプレゼンテーションを作成、発表者である菊池袖南と高橋愛李はNO原稿で発表し島山美優は、的確にリーダーポインターでスライドを指示、4名の力で堂々と会場を魅了させる発表をしてくれた。私は、発表と同時に会場の空気感が一変したことを肌で感じ

た。質疑は、大きく分けて3つある。①ルプリンを抽出する際の有機溶媒の濃度が同じでも、細菌検査で差が出たのはどうしてなのか。②ルプリンのどのような成分が抗菌力として作用しているのか。③そもそもホツブをしようとした理由は何か。など、どれも難易度の高い質問であった。それらの質問に、菊池は、科学的データの裏付けの元、説得力のある回答をしていた。審査員は、京大、阪大、神戸大など8名の教授たちである。多くの教授から菊池の回答に耳を傾け感心を持っていったようである。表彰式の講評では、京大教授が、「これまでの多くの実験から抗菌力を導き出し社会に貢献できる素晴らしい研究である。その過程も評価したい。」と述べていた。生徒たちは、農業クラブ全国大会に出場できなかった悔しさをバネに、このようなアカデミックな大会でグランプリを頂けたことに体全体で嬉しさを表現していた。と同時に今まで研究してきたことは、間違いでなかったことを、身を以て感じていたようである。

この成功体験を通して、大きな自信と研究に誇りを持つことができたと思われている。担当者として感慨深げに表彰式を拝見させて頂いた。

人生は、成功することの方が少ない。結果がでないことや失敗が多い。ただこの子たちは貪欲に、「このままでは終われない」という強い意思と「挑戦したい」という気持ちがあった。その気持ちを持続してこれたソーセイジ研究班に心より「大きな成長を遂げてありがとう」を伝えたい。この経験を糧に将来、人生に

ついて何事にも挑戦し諦めないピュアな気持ちをもち続けて欲しいと私は願っている。最後に、本大会に出場するにあたり、生徒の活躍できる場に快く賛同していただいたPTA役員様や校長先生をはじめ関係していただいた先生方には、多大なる御支援御協力を賜り深く感謝している。自己の成長につなげることができると探究学習のプロジェクト研究活動の意義を改めて感じ、今後のソーセイジ研究班のみならず花農プロジェクト研究の発展に寄与していきたい。

食農科学科 学科長(ソーセイジ研究班担当)
村上 利行

テノ愛とは

テクノ愛とは、科学技術に関するアイデアを幅広く募集し、優秀なものを表彰するコンテストである。テクノ愛実行委員会が主催となり、公益財団法人京都技術科学センターと京都大学成長戦略本部が共催となって行われている。高校の部は平成14年度から実施されている。

2024年度は、高校の部に全国から449チームの応募があった。11月に、高校、大学の部で最終審査に残った18チームのプレゼンテーションと審査が京都大学国際科学イノベーション棟で行われ、食農科学科ソーセイジ班の研究「ソーセイジでフードロス削減1」が見事グランプリを受賞した。

審査は、着眼点の良さや独創性を見る「ユニーク度」やアイデアについてしっかり考察されているかどうかを見る「成熟度」、実際に役立つかどうかを見る「実用性」、インパクトや説得力があるかどうかを見る「アピール度」の4つの観点から行われた。